

「消防団の力向上モデル事業」事業紹介

事業名 風水害に対応した資機材取扱訓練

自治体名

香川県高松市

消防団名

高松市消防団

1 事業の目的・必要性

近年の消防団活動は、火災のみならず、台風、集中豪雨など様々な災害現場で活動する場面が増加してきている。当市においても、過去に床上浸水等甚大な被害が発生した。管内には沿岸部を始め、多数の河川があり、今後も同様の被害が発生する恐れがあるため、風水害に対応した資機材を整備、充実強化する必要がある。また資機材取扱訓練については、沿岸部及び河川域の分団を中心に全方面隊を対象に、風水害を想定してのボート取扱、救出方法等を実際に河川において訓練することで、消防団の災害対応能力及び士気の向上を図ることを目的とする。

2 事業内容

年々多発する集中豪雨等による自然災害に対応するため、老朽化し更新が必要なボート等の資機材を整備するとともに、水難救助専門の外部講師を招いての専門的な流水域でのボート操船訓練や簡易的なスローバック投げ訓練、オールを使用した搬送方法などの風水害に対応した訓練を実施した。



(ボート操船訓練)



(簡易スローバック投げ訓練)



(オールを使用した搬送訓練)

3 事業成果

ボート等の取扱いに不慣れな若手団員も多く、全方面隊の団員を対象にすることで、管内のどこで災害が起きた場合でも、対応できるようになった。また、流水域で専門講師によるボート取扱訓練を受講することで、河川等での活動時の危険性やボートの操船技術など、専門家ならではの知識・技術の習得ができたことにより、災害発生時には迅速・確実な活動が期待できる。また、トランシーバーを使用して無線交信訓練をすることで、各ボート間での情報共有の大切さや、災害時の無線交信の重要性を認識するとともに、全分団のボートの老朽化による更新が完了した。

4 目標達成状況

指標会く	単位	当初目標	実績値	備考
説明会	回数	3回	3回	
訓練参加者	人数	64人	64人	
風水害対応訓練	回数	1回	1回	

5 その他参考情報